

広報

2019  
令和元年

# 奥出雲

11

No.176

## 横田高等学校創立百周年



### 今月号の主な内容

- 奥出雲町タウンミーティング開催 ..... 5
- ～ふるさと応援寄附～室内ホッケー用スティック贈呈式 ..... 7
- 地域おこし協力隊の現場を訪ねて ..... 9

### わたしたちの町

人口 12,504人 / 男 6,042人 / 女 6,462人 / 世帯数 4,799世帯  
(11月1日現在)



# 島根県立横田高等学校 創立百周年

## 横田高等学校の始まり そして、現在

島根県立横田高等学校は、大正8年に仁多郡立農学校として開校されました。その後、昭和23年に現在の県立横田高等学校と校名変更され、農業・畜産・普通科を有する高校となりましたが、昭和40年以降、普通科のみの高等学校となりました。

戦後の混乱期、高度成長期、少子高齢化など大きな社会変革の中で、卒業生は13,350人（平成31年3月31日現在）に上り、全国各地で活躍されています。

そして現在、教育魅力化校として、奥出雲町と密接に連携し、地域で学び社会を支える人材育成を行っています。1年生は、地域の抱える課題について考える「奥出雲学」を学びます。そして、2年生では、「奥出雲町の魅力を発信すること」をミッションに掲げ、地域の方の協力を得ながら、仮想会社「だんだんカンパニー」を運営しています。

総合コースは、町が誇る「特産品」を活かし、商品の企画・開発・生産・販売を行っています。進学コースは、「地域課題解決」に取組み、青山学院大学で発表やディスカッションを行っています。

近年、「しまね留学」として、地元を離れ高校3年間を横田高校で過ごす県外・町外出身生徒も増えています。

11月2日秋晴れの中、島根県立横田高等学校体育館で、創立百周年記念式典が行われました。全校生徒・教職員をはじめ、島根県知事、町長など地元関係者のほか、多くの出席がありました。町長からは「私自身も出身校で、長い歴史を皆さんと振り返られることは嬉しい。地域に根ざした高校として発展してほしい。」と挨拶がありました。

また、9月15日には記念イベントとして、ホッケーの強豪校・岐阜総合学園高校と岐阜各務野高校を招き、招待試合があり、良きライバル同士の交流が行われました。



ホッケー招待試合参加者



式典の様子



ふじはら けいた  
生徒会長 藤原 恵太さん  
(奥出雲町出身3年生)

県外出身の友達がたくさんできました。

近隣の高校へ進学した同級生も多いと思いますが、横田高校で過ごしてよかったことは何ですか？

1年時の「奥出雲学」では、空き家対策などの地域の課題や仁多乃炎太鼓などの文化について学びました。そして、2年時の「だんだんカンパニー」では米を作り、東京で販売しました。この2つの授業では、地域の人とたくさん交流しました。地域のみなさん方が、いつでも僕たちを気にかけてくださり、サポートしてくださった事がとても嬉しかったことです。

横田高校で新しい出会いはありましたか？

中学校までは奥出雲町出身の人ばかりでしたが横田高校では県外出身者もたくさんいて、新しい友達できました。知らない土地の話をし、奥出雲町にしながら色々な交流ができて楽しいです。



こだに ちかの  
小谷 実乃さん  
(鳥取県日南町出身3年生)

卒業後も奥出雲町で働きます。

横田高校で3年間過ごしてみてもどのように思いますか？

地元を離れて進学し、新しい友達作りを通してメンタル面が強くなったり、生徒会活動に参加をし、積極的になれました。また、「奥出雲学」や「だんだんカンパニー」などの地域学習を深くできたことがとても良かったです。

寮生活はどのようなものか教えてください。

分からないことが多かったのですが、その都度、先輩や友達が教えてくれるので安心です。そして、時間がきちんと決められているので、勉強も集中することができました。

卒業後は、どうされますか？

奥出雲町にある企業に就職します。授業を通して地域の人との交流ができたので、このつながりを大切にしていきたいです。

横田高校に進学したのは何故ですか？

中学3年生の10月までは、地元に進学するつもりでしたが、県外の高校へ行く人が多く、刺激を受けました。自分も県外へ出て色々な事を吸収したいと思い、県外進学を決め、情報収集を始めたところ、ニュースで「しまね留学」を知りました。島根県内の19ある高校から横田高校に興味を持ったのは、「奥出雲学」が面白そうだったからです。そこで、高校見学へ行き、先生方の対応も丁寧だったので進学を決めました。

奥出雲町であと2年半過ごしますが、どのように過ごしたいですか？

「奥出雲学」のような地域の課題を考える事が今までありませんでした。この授業で、地域の人に会い、米作りはもちろん、農作物の栽培など色々な事に愛情をもって取り組んでおられることに感銘を受けました。今後は、地域の人とさらに交流を深め、町のために恩返しをしたいと思います。



いとう ひろと  
伊藤 大翔さん  
(広島県東広島市出身1年生)

「地元の人との交流を深めていきたいです」



広報 奥出雲 2



色々な世代の人と話す事が楽しい！高校生の意見も聞いてくれて嬉しいです。

奥さんのふるさとに移住してきました。奥出雲町が好きでずっと住み続けたいので、町がより良くなるために参加しました。

高校生と話げできたことが新鮮!!

いろいろな意見が聞けて参考になりました。

## 奥出雲町タウンミーティング開催

10月6日と10月20日の2日にわたり、役場仁多庁舎において奥出雲町タウンミーティングを開催しました。このタウンミーティングは、町内の各世代の皆さんに町の課題やまちづくりについてのご意見を伺う場として昨年度から開催しています。

今年は、10年後の理想の奥出雲町についてグループワークで話し合い、理想を実現するためにできることについて参加者が発表しました。また、当日のファシリテーターとして「株式会社風と土」から阿部悠志さんと岡部有美子さん、タウンミーティングの模様を描いてもらうグラフィッカーとして「NPO法人場とつながりラボホームズビー」の山本彩代さんを招き、話し合いを盛り上げてもらいました。

この2日間でまちづくりに対する意見をたくさんいただきました。いただいたご意見は、町政運営のほか次期総合戦略策定に活用します。

※昨年度いただいた「託児があると良い」という意見を反映し、子育て世代が安心して参加できるよう託児スペースを設けました。

託児スペースがあり、とても参加しやすかったです。



おねんねタイム

### 今回テーマ「若者にとって住みやすい奥出雲町とは？」

奥出雲町の人口の現状は、高校卒業後の進学・就職による町外流出が多く、特に20歳～44歳の女性が著しく減少しており、これに伴い、出生率も低い状況です。少子高齢化が進む中で、若い世代が奥出雲町に住み続けたいと感じるには何が必要かを、世代を超えて話し合いを行いました。



▲グラフィックファシリテーターが話し合いの様子をその場でまとめたもの

### 第1回（10月6日）

第1回目は、「10年後の理想の奥出雲とはどのような町か」について、参加者が、何を重要と感じているか意見を出し合いました。そして、参加者から出たキーワードは「子育て」「教育」「仕事づくり」「交流の場づくり」「関係人口の拡大」でした。

### 第2回（10月20日）

第2回目では、第1回目で出た5つのキーワードをテーマとし、参加者が自身の興味のあるテーマについて「私ができること」「役場がすること」「私と役場と一緒にできること」について話し合いを行いました。その後、参加者から話し合いたいテーマを提案してもらいました。「気軽に相談できる何でも相談窓口」、「ケーブルテレビを活用した子育て情報発信」や「小学生が楽しめる放課後の学び場づくり」など、様々な視点から提案があり、参加者が提案者と共に実現に向けて意見を出し合いました。



## 阿井小学校4年生の和牛審査体験学習

9月27日、町和牛改良組合阿井支部の肉用子牛品評会に併せ、阿井小学校4年生による和牛審査体験学習が行われ、奥出雲和牛について理解を深めました。

4年生7名は、県の農業普及員から審査のポイントを教わった後、品評会に出品された子牛11頭の体を触りながら確認したうえで、児童全員で話し合い、上位3頭を決定し、手作りの賞状で出品者を表彰しました。



阿井小学校4年生・町和牛改良組合阿井支部の皆さん

## 奥出雲町肉用子牛共進会を開催 和牛改良の成果（審査結果）

令和元年度第2回奥出雲町肉用子牛共進会が、10月4日に仁多中央家畜集合所において開催されました。

この会は、肉用牛の改良増殖と畜産経営の発展を目的に開催されており、町内9地区および奥出雲町農業公社から選ばれた37頭の肉用子牛が出品され、審査員によって個体審査、比較審査が行われました。

会場には町内の畜産関係者が訪れ、審査の様子を見守っていました。

順位	名号	出品者(地区)
特選賞首席	ふくのゆき	奥出雲町農業公社繁殖育成センター
特選賞2席	ゆりひさ	勝田 律江 (阿井)
特選賞3席	さほひめ	金倉 弘美 (阿井)
特選賞4席	はるか	荒川 佳史 (鳥上)
特選賞5席	さち	堀尾みさこ (八川)
団体優勝		阿井支部

## 令和元年度島根県種畜共進会開催

10月19日、松江市宍道町の島根中央家畜市場で、令和元年度島根県種畜共進会が開催されました。

県内の市町村から選抜された肉用種牛の部47頭、乳用種牛の部34頭が出品され、発育、栄養度などについて審査が行われました。

奥出雲町からは、肉用種牛の部に7頭、乳用種牛の部に5頭が出品されました。

阿井地区の勝田律江さん出品の「ゆい2」号が肉用種牛の部に第4区成雌牛区の優秀賞第4席に選ばれました。

出品者の皆様、応援いただいた皆様をはじめ、関係各位にお礼申し上げます。これからも地域をあげて優良牛の飼養育成に取り組んで参ります。



▲特選賞首席の「ふくのゆき」号

## JR出雲横田駅 新しめ縄を新調しました!

JR出雲横田駅のシンボルである大しめ縄の掛け替えが10月27日に行われました。

大しめ縄は、前回の掛け替えから約10年が経過したことや、令和元年という節目を機に横田駅前商店会、稲田自治会と横田高校生のみなさんにより新調されました。今後も多くの乗客の皆さまがJR木次線をご利用され、学業の成就、また来訪客が増え続けていくよう願いが込められています。



しめ縄づくりを手伝った横田高校の生徒もお披露目に出席しました



～ふるさと応援寄附（ガバメントクラウドファンディング）～

## 室内ホッケー用スティック贈呈式

昨年、「2020年、夢への挑戦！小さなまちの子どもたちが世界で輝くプロジェクト」をテーマに実施した、ふるさと応援寄附「ガバメントクラウドファンディング」で、目標寄付額150万円に対し、目標を大きく上回る464万円のご支援を全国からいただきました。

小学生がホッケーを始めたいと思う1番の理由は「室内ホッケーが楽しかったから」というものです。しかし、これまで用具の破損によって、存分に楽しめない現状があったため室内用ホッケー用具を購入しました。

そして、10月15日に、八川小学校で室内用ホッケー用具の贈呈式行われました。贈呈式後には、プロジェクト達成を記念し、八川地区出身のロンドンオリンピックホッケー競技女子日本代表選手の津田志穂さんをお迎えして、新しい用具で室内ホッケー交流会を行いました。

この室内用ホッケー用具は、未来のオリンピックの育成に繋がることを期待し、町内全小学校に渡ります。

### クラウドファンディング (crowdfunding) とは

群衆 (crowd) と資金調達 (funding) を組み合わせた造語で、インターネットを通して自分の活動や夢を発信することで、想いに共感した人や活動を応援したいと思ってくれる人から資金を募るしくみ。

### ガバメントクラウドファンディングとは

自治体がプロジェクトを立ち上げ、それに関心や共感した方から寄附を募るしくみ。



購入した室内ホッケー用スティック

## 奥出雲交通株式会社 貸切バス事業者安全性評価認定制度 「一ツ星」認定

奥出雲交通株式会社の貸切バス事業は、公益社団法人日本バス協会の「貸切バス事業者安全性評価認定制度」において、安全確保への取り組みが優秀な貸切バス事業者に与えられる安全性評価認定「SAFETYBUS」一ツ星に認定されました。



安全に対する取組状況が優良なバス会社であることを示すシンボルマークです。「SAFETY BUS」(セーフティバス)は、安全に対して弛まぬ努力をし続けていることを意味します。

これからも、皆様が安心して、奥出雲交通株式会社の貸切バス事業・路線バス事業をご利用いただけるよう、最高位である「三ツ星」を目指し、日々努力を続けてまいりますので、ご愛顧いただきますようお願いいたします。

9月25日、厚生労働大臣から学校法人仁多学園島根リハビリテーション学院に令和元年度献血運動推進協力団体等厚生労働大臣感謝状が贈呈されました。

これは、献血運動の推進に関し、積極的に協力し、他の模範となる実績を示した会社、学校等が表彰されます。リハビリテーション学院は、献血運動に21年参加し、献血者は累計で898人に達し、献血者確保に貢献されています。



## 島根リハビリテーション学院 令和元年度献血運動推進協力団体等 厚生労働大臣感謝状を授与

## U18男子ホッケー日韓交流大会報告会及びU18女子ホッケー日韓交流大会激励式

10月18日、横田高校から日本代表として5人の選手が選出されたU18男子ホッケー日韓交流大会報告会及びU18女子ホッケー日韓交流大会激励式が役場横田庁舎で開催されました。勝田町長からは、「国際大会で日本代表として、奥出雲町の選手が活躍する事は、ホッケーの町として誇りに思う」と挨拶がありました。そして、男子選手からは韓国選手との試合の感想、女子選手からは意気込みを語ってもらいました。

### U18男子ホッケー日韓交流大会

開催日:10月10日～16日  
会場:韓国

前田 美結さん(3年)  
オランダ遠征で学んだ事を活かし、チームに貢献したいです。

### U18女子ホッケー日韓交流大会

開催日:10月21日～25日  
会場:岐阜県名務原市



石田 起弥さん(2年)  
ゴールキーパーとして全体を見て動くことができました。韓国選手とは、ジェスチャーを使いながら交流をしました!

佐伯 郁海さん(3年)  
初めての日本代表で、日本選手と海外選手の違いを感じました。今後のプレーに活かしていきたいです。

品玉 結生さん(3年)  
海外選手と戦える貴重な機会。ミッドフィルダー(繋ぎ役)として、周りにいいパスを出したいです。

長谷川 美優さん(3年)  
昨年の日本代表では、思うようにプレーができなかったため、今回はチームに貢献したいです。

## 第103回仁多郡陸上競技大会

仁多郡陸上競技大会が10月13日、三成公園陸上競技場で開催されました。小学生から一般の選手までが日頃の練習の成果を競い合いました。また、応援席では、熱いエールが秋晴れの空に響いていました。

### 大会新記録

中学2年男子100m 11秒58 藤原琉成(仁多中)  
一般男子5,000m 15分5秒21 田部幹也(三沢)  
一般男子走高跳 1m92cm 吉川和希(布勢)

### 大会結果

部門名	優勝(得点)	準優勝(得点)
小学生男子の部	横田小(43.5点)	三成小(29点)
小学生女子の部	亀嵩小(32点)	阿井小(29点)
中学校男子の部	仁多中(77点)	大東中(56点)
中学校女子の部	仁多中(73点)	横田中(54点)
一般男子の部	三成(91点)	阿井(67点)
一般女子の部	馬木(37点)	阿井(32点)



## 地域づくりフォーラム馬木

元気で生き生きと安心して暮らせる住み続けたい馬木地区を目指し、活動に取り組んでいます。8月から元気と賑わいを創出するために「あおぞら市」が2ヶ月に1回開催されており、馬木地区でできた新鮮野菜・果物・新米・地元加工所が作る食品が並びます。たくさんの人と交流する場となっており、地域に活力と賑わいが生まれています。

また、馬木地区の方が地域の課題に対し、どのような意識を持っているかを確認するために中学生以上を対象にアンケートを実施されました。地域全体でワークショップを2回開催し、地域の魅力、現状、課題を洗い出し、特に必要性の高い課題をアンケートに盛り込まれました。この結果を受け、今後の計画づくりや実践活動に取り組まれます。



# しまねコンピューターマッチング「しまこ」について

～11月から奥出雲町においても「しまこ」が閲覧可能になりました～

しまね縁結びサポートセンターでは、平成30年10月から有料会員制のコンピューターによるマッチングシステム「しまこ」を導入しています。「しまこ」を利用される場合には会員登録が必要です。また、閲覧にはサポートセンターのホームページから来所予約が必要です。

## =「しまこ」に入会できる方=

島根県内にお住まいの方、県内にお勤めの方、又は島根県内に移住の意志や予定がある方で真剣に結婚を望まれる20歳以上の独身の方

## =「しまこ」入会方法=

入会の申込と会員登録が必要です。詳しくは、しまね縁結びサポートセンターのホームページをご覧ください。

## =奥出雲町での閲覧について=

閲覧日・時間：毎週木曜日 9:00～17:00(16:00受付最終)

閲覧会場：役場仁多庁舎 ※タウンホールへお越し下さい。

## 【申込み・お問い合わせ】

一般社団法人 しまね縁結びサポートセンター

松江センター 松江市殿町8-3 タウンプラザしまね2F

TEL:0852-61-1150 FAX:0852-61-2055



しまねコンピューターマッチング

しまこ

SHIMA-CO

有料会員制 結婚支援システム

## 地域おこし協力隊の現場を訪ねて

今回ご紹介するのは、奥出雲ファンドレイザー（ふるさと納税企画運営）の土江隊員と奥出雲町まち・しごと・ひとセンター「奥サポ」（奥出雲町サイクリングターミナル内）の移住定住コーディネーター磯田隊員をご紹介します。

土江由起夫 隊員



### どのようなお仕事をされていますか？

ふるさと納税の企画運営を担当しています。地域をPRして、寄附や関係人口を増やす仕事です。また、ガバメントクラウドファンディングを活用して、地域で「これやりたい!」という方々をバックアップしています。地域で「やりたい!」という方に出会うため、また、どのようにお手伝いができるかを普段から探しています。

### ガバメントクラウドファンディングとは

自治体が抱える問題解決のため、ふるさと納税の寄附金の「使い道」をより具体的にプロジェクト化し、そのプロジェクトに共感した方から寄附を募る仕組みです。奥出雲町では、この制度を活用して「室内用ホッケースティック」を購入しました。※P7に記事を掲載しています。

### 奥出雲町に住んだ感想は？

お米、舞茸、お酒など食べ物が美味しいです。残りの任期期間中は、イベントに参加したり、お手伝いをしたりしながら、町民として馴染めれば良いなと思っています。

江津市出身で、高校卒業後、10年間東京に住んでいた土江隊員。まちづくりに興味があり、UIターンフェアを訪れ、奥出雲町にIターンを決意。

### どのようなお仕事をされていますか？

仕事を探している方に対し、仕事の紹介や職場見学のセッティングをしています。また、移住定住サイト「ディープタウン奥出雲」の運営を行っています。そして、移住定住とはいかないまでも、奥出雲町に興味を持ってもらう関係人口を拡大するために、奥出雲町の食材を使用したフードパーティーを開催し、松江や出雲、県外からのIターン者に参加してもらっています。

### 趣味は何ですか？

アクセサリ作家としても活動しています。イヤリングやアクセサリを地元農家さんが育てた花を押し花にし、樹脂で包んで作ったり、そろばんの珠で作ったり、その他にも、注文に応じて様々なアクセサリを作成しています。

磯田菜保子 隊員



松江市で会社員として勤務。家族と住むために奥出雲町で働くことを決意。



磯田隊員の手作りアクセサリ

## 土地取引の届出制度について

国土利用計画法により、一定面積（※）以上の取引（売買、交換等）をした場合は**契約締結日を含めて2週間以内**に取り引きした土地が所在する市役所又は町村役場へ届出が必要です。

※届出が必要な面積は次のとおりです。

- ① 市街化区域内の土地 2,000㎡以上
- ② ①を除く都市計画区域内の土地 5,000㎡以上
- ③ 都市計画区域以外の土地 10,000㎡以上

### 【お問い合わせ】

企画財政課 有線 31-5241 電話 54-2522

県庁用地対策課 電話 0852-22-5077



## ◆◆◆◆◆令和元年度宝くじコミュニティ助成事業◆◆◆◆◆

### コミュニティ活動に必要な備品が整備されました

宝くじコミュニティ助成事業は、宝くじの収入を財源とし、地域のコミュニティの健全な発展を図るためのもので、(財)自治総合センターが宝くじの社会貢献事業の一環として行っています。

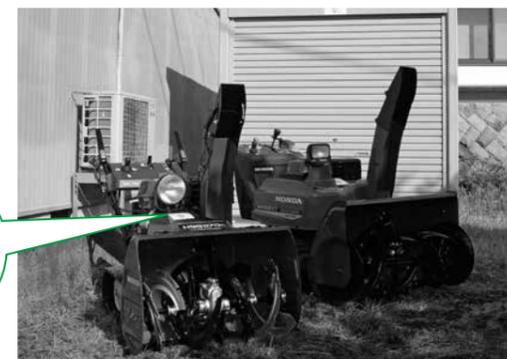
今年度、助成事業により角自治会に除雪機及び倉庫が整備されました。なお、コミュニティ事業には、次の事業があります。

- ① 一般コミュニティ助成事業
- ② コミュニティセンター助成事業
- ③ 地域防災組織育成助成事業
- ④ 青少年健全育成助成事業
- ⑤ 地域づくり助成事業
- ⑥ 地域の芸術環境づくり助成事業
- ⑦ 地域国際化推進助成事業

### 【お問い合わせ】

地域づくり推進課

有線 31-5262 電話 54-2524



## 奥出雲町廃棄物処理施設への持込の際のお願い

### <共通>

- 事前に分類表に従って**分別して**持込みしてください。
- 持込物の確認にご協力をお願いします。
- 場内では係員の指示に従ってください。

### <仁多可燃物処理センター>

- 多量の布類**は、燃焼管理への影響が大きいため、**事前にひもで縛る等して持込み、ピット横の布団置場に置いてください。**

- 大きいもの**(布団、こたつ布団、カーペット、ござ等)  
【1枚ずつひもで縛ってください】
- 薄いもの**(毛布、シーツ、カーテン、布類等)  
【2～3枚ずつひもで縛ってください】
- 小さいもの**(衣類、枕等)  
【袋に入れてください】

### 【お問い合わせ】

町民課町民グループ

有線 31-5108 電話 54-2510

仁多可燃物処理センター

有線 31-0896 電話 54-0896

仁多クリーンセンター

有線 20-0498 電話 52-0498



## 環境にもお財布にもやさしい生活にチャレンジ!! 「今どきの冷蔵庫は10年前と比べると約43%の省エネです」

皆さんの家には、冷蔵庫・冷凍庫が何台ありますか?3台以上は当たり前の奥出雲町ですが、中身の整理はしていますか?24時間働いている冷蔵庫は、1台で家電製品の電気代の中で1割以上消費しています。台数を減らすだけで節約できます。

古いものを大切にする気持ちは大切ですが、必要以上の台数があればそれだけ電気代は無駄になっています。それに、今の冷蔵庫は、10年前と比べると技術が進歩し約43%も年間消費電力量が少ないのです。古い冷蔵庫を処分することになったら、最後は、家電リサイクルにきちんと取り組んでいる業者に渡して、正しい処分をしてもらいましょう。



未来のために、いま選ぼう。

地球温暖化防止対策地域協議会・エコナйт  
(奥出雲町在住しまねエコライフサポーターの会)

## 有害鳥獣の捕獲・駆除実績

奥出雲町では、有害鳥獣捕獲班の皆さんに有害鳥獣を捕獲・駆除していただいております。  
令和元年9月の捕獲・駆除頭数実績をお知らせします。

捕獲班名	ニホンカ	イノシシ	カラス	捕獲班名	ニホンカ	イノシシ	カラス
布勢	-	12	-	鳥上	2	7	-
三成	-	3	2	横田	-	7	13
亀高	-	11	6	八川	1	24	-
阿井	-	18	-	馬木	-	7	-
三沢	1	12	-	合計	4	101	21

有害鳥獣による農作物被害がございましたら、下記までご連絡下さい。  
【お問い合わせ先】農業振興課農業生産グループ  
有線:31-5286 電話:54-2513

## 東京仁多会70回記念誌「奥出雲とともに」を出版

東京仁多会は首都圏でも古い歴史あるふるさと会で、戦後の苦しい時代に仁多郡から上京する若者を支え、応援する目的で設立されました。そして、昭和26年第1回の総会以来、本年で70回目を迎え、記念事業として記念誌を出版されました。役場仁多庁舎、横田庁舎、各地区公民館と一部の病院等に設置しておりますので、是非ご覧下さい。



## 尾原ダム・さくらおろち湖「100年先も誇れる森づくり」令和元年度記念植樹者募集

尾原ダム・さくらおろち湖周辺では、歳月を経て良好な景観が創出される「100年先も誇れる森づくり」をコンセプトとした記念植樹に取り組んでいます。

このたび、令和元年度の植樹者(個人・団体等)を募集いたします。

### ●記念植樹の概要

- ・植樹場所 雲南市木次町北原「北原大橋」付近植樹帯
- ・実施日時 令和2年3月20日(金) 9:00～(予定)
- ・樹種 ササベザクラ
- ・募集件数 4件
- ・プレート 植樹者名等を記した記念プレートを設置します
- ・対象者 雲南市・奥出雲町内に住所を有する個人・団体等
- ・料金 30,000円(苗木、記念プレート代、今後の維持管理費を含む)

### ●申込み方法

令和2年1月10日(金)までに、申込書を提出してください。申込書は、下記または「水の縁による新たな出雲の国づくり」や「雲南市」と「奥出雲町」のホームページ上に掲載しております。メール・郵送も可能です。  
※募集件数を上回る場合は、選考により決定いたします。

### ●申込み/お問い合わせ

NPO法人さくらおろち TEL 0854-48-9050  
E-mail:katuyoukyou@yahoo.co.jp  
水の縁による新たな出雲の国づくり  
HP <https://mizunoenishi.net>  
商工観光課 有線 31-5272 電話 54-2504

### く口座振替のお知らせ

#### 税金・使用料など公共料金の11月分の口座振替は12月2日(月)です。

今回の振替は次の13項目です。

- 国民健康保険税(第8期)
- 後期高齢者医療保険料
- 情報通信使用料
- 下水道使用料
- 水道使用料
- 保育料
- 住宅使用料
- 住宅駐車場使用料
- 住宅共益費
- 老人ホーム入所費用等徴収金
- 訪問看護利用料
- 介護サービス利用料
- 介護老人保健施設利用料

\*納税通知書等で金額をご確認いただき、今一度通帳残高をお確かめいただきますようお願いいたします。

#### 下水道使用料金(公共・農集・合併)について

◎使用人数の変更(転入・転出・出生・死亡)があった場合は、速やかに役場水道課へ届出を提出して下さい。使用人数によって使用料金が変わります。

## 横田高校 東京研修 「よここうコーナー」

10月15日～18日、本校2年生が東京研修に参加しました。コース別・班別に分かれて、販売実習、青山学院大学での研修、都内各所施設見学等を行いました。11月19日のだんだんカンパニー報告会で、生徒はこの研修で体験したことや学んだことを発表します。



## 2学期校内球技大会

10月3日、本校第1グラウンド及び第1・第2体育館で球技大会を行いました。男子サッカー、女子バレーボール、男女卓球で活気溢れるプレーが続出しました。応援も盛り上がり、クラスごとに一体感が感じられる一日となりました。



### 奥出雲町 図書館 新着図書案内

カルプラ仁多図書室 ☎542083  
横田コミセン図書室 ☎522022

### カルチャープラザ仁多図書室

『落日』 湊かなえ著  
『ひとり老後、賢く楽しむ』 岸本葉子著  
『A-1に負けない子どもを育てる』 新井紀子著  
『医師に「運動しなさい」と言われたら最初に読む本』 中野ジエームス修著  
『しあわせの牛乳』 佐藤慧著  
『まんまるダイズみそづくり』 ミノオカリヨウスケ著  
『こども六法』 山崎聡郎著

12月の休室日 月曜、祝日  
年末休室(12月28～12月31日)

### 横田コミュニティセンター図書室

『罪の轍』 奥田英朗著  
『我がが少女A』 高村薫著  
『むらの困りごと解決隊』 農山漁村文化協会編  
『腸を切った人を元氣いっぱいにする食事170』 齋藤典男監修  
『ぼくはなんでもできるもん』 いたうみく作  
『さとやまさん』 工藤直子文  
『彼岸花はきつねのかんざし』 朽木祥作

12月の休室日 日曜日、祝日  
年末休室(12月28～12月31日)

### カルプラ仁多図書室

『センス・オブ・シェイム』 あの人という時の居心地の悪さ。原因は「恥の感覚」の違いにあった!食べ放題での「元取り」食い。「お母さんに感謝」からのハグ。ブックカバーをししないで本を読むこと。SNSでの手作り料理自慢…本来恥ずかしがり屋だった日本人に、今、何が起きているのか。フェイスブックでの自慢バブルを斬った「中年とSNS」が大反響!共感の嵐を巻き起こす傑作エッセイ集。(出版社紹介より記載)

12月の休室日 月曜、祝日  
年末休室(12月28～12月31日)

## みんなの掲示板

### 第8回お仕事チャレンジ教室「最新大型液晶タブレットでフォトショップ体験」

アドビフォトショップを使ってイラストを描こう!!

◆日時 12月21日(土) 10時～12時

◆会場 島根デザイン専門学校

◆対象 小学生(4～6年生)・中学生

◆定員 10名

※定員になり次第受付は終了

◆参加費 無料

◆申込方法 11月29日(金)から受け付け開始。前日17時までにはメール・お申込み・お問い合わせ

島根デザイン専門学校  
有線203200  
電話523200  
FAX523201  
メール info-s@shinade.ac.jp

※お電話での申込は、平日9時～17時まで

小規模企業共済制度のご案内  
個人事業主(共同経営者含む)・会社等の役員の方が事業をやめられる場合などに備えて、あらかじめ資金を準備しておく共済制度で、「小規模事業の経営者の退職金制度」といえます。特徴は、毎年、掛金が、全額所得控除となる点で、節税効果があります。(独)中小企業基盤機構が運営し、商工会、商工会議所、青色申告会、金融機関の本支店などの窓口で取扱っています。  
ホームページ <https://www.smri.go.jp/kvosai/skyosai/>  
電話05055417171  
(平日9時～14時)

# 12月の行事予定

1	日	第24回中四国中学生選抜剣道大会(町民体育館)	14	土	古紙回収(布勢、阿井、三沢)
2	月	こころの健康相談日(役場仁多庁舎)14:00~15:00	15	日	結婚・子育てコンシェルジュ相談所 (カルチャープラザ仁多)10:00~15:00
3	火		16	月	
4	水		17	火	物忘れ相談会(役場仁多庁舎)8:30~16:30 胸部CT検査(奥出雲病院) 奥出雲町議会 予算特別委員会(集約)9:30~
5	木		18	水	
6	金	乳がん検診(奥出雲病院) 奥出雲町議会12月定例会 本会議(初日)9:30~	19	木	歯と口の健康相談室(役場仁多庁舎)10:00~12:00 奥出雲町議会12月定例会 本会議(最終日)9:30~
7	土	古紙回収(八川、馬木)	20	金	出張年金相談(役場横田庁舎)10:00~15:30
8	日	鳥根県東部地区自治体等共同公売会 (松江合同庁舎)10:00~ 結婚相談所「はぴこ」(社会福祉協議会仁多事務所) 10:00~15:00	21	土	古紙回収(横田、鳥上) 三井野原スキー場開き
9	月	健康・栄養講座と相談日(役場仁多庁舎) 9:00~16:00 奥出雲町議会12月定例会 本会議 (一般質問)9:30~	22	日	
10	火	結婚相談所「はぴこ」 (社会福祉協議会仁多事務所)13:30~15:30 胸部CT検査(奥出雲病院) 奥出雲町議会12月定例会 本会議 (一般質問予備日)9:30~	23	月	
11	水	素読論語「仁多志学塾」(多根自然博物館) 大腸がん検診(健康センター) 奥出雲町議会 予算特別委員会9:30~	24	火	結婚・子育てコンシェルジュ相談所 (横田コミュニティセンター)10:00~15:00
12	木	1歳6ヶ月児健診(H30年4月・5月生)	25	水	
13	金	出張年金相談(役場仁多庁舎)10:00~15:30 乳がん検診(奥出雲病院)	26	木	オレンジカフェ(永生クリニック)10:00~12:00 7、8ヶ月児健診(H31年4月・R1年5月生) 10、11ヶ月児健診(H31年1月・2月生)
			27	金	
			28	土	古紙回収(三成、亀嵩)
			29	日	
			30	月	
			31	火	

## 男女共同参画山柳

手ごしてよ  
そこから始める  
家事さんかく

奥出雲町男女共同参画サポーター

